2026 年 11 月 12 日

各　位

会社名　　日亜鋼業株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　大西　利典
（コード番号：5658　東証スタンダード）
問合せ先　　常務取締役管理本部長　　山内　幸治
電話　　（TEL：06-6416-1021）

# 2027年３月期中間連結会計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年５月14 日に公表いたしました 2027年３月期中間連結会計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．　2027年３月期中間連結会計期間の業績予想と実績値の差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1 株当たり中間純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | （百万円） | （百万円） | （百万円） | （百万円） | 円　銭 |
| 前回発表予想　(A) | 16,770 | 580 | 840 | 520 | 11.57 |
| 今回実績値　(B) | 17,221 | 806 | 1,165 | 863 | 19.24 |
| 増　減　額　(B－A) | 451 | 226 | 325 | 343 | － |
| 増　減　率　(%) | 2.7 | 39.1 | 38.8 | 66.0 | － |
| （ご参考）前期中間期実績（2026年３月期中間期） | 16,544 | 453 | 820 | △20 | △0.44 |

差異の理由

前回公表した2027年３月期中間連結会計期間の業績予想に対し、コスト低減を中心とした収益改善や主副原料価格上昇に伴う在庫評価益に加え、固定資産税・都市計画税の過納金に対する賠償請求が全面的に認められ、還付固定資産税等340百万円を特別利益として計上したこと等により、利益面において前回公表予想を上回る結果となりました。

しかしながら、地政学リスクの増大に伴う世界的な物価の高騰に歯止めがかかっておらず、主副原料価格をはじめ、エネルギーや物流費、人件費等様々なコストの上昇が継続している中、収益への影響が懸念される状況にあります。

以上のことから、現時点における通期の連結業績見通しにつきましては、更なる業績の進捗を見極めるため、2026年５月14日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想に変更はございません。

〔予想に関する留意事項〕

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上